

海面を滑走するアメンボの追加記録

Additional records of a fresh-water strider *Aquarius paludam* (Hemiptera, Gerridae) that glides on sea surface

久保田 信

(京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)

淡水性のアメンボ *Aquarius paludam* が、和歌山県西牟婁郡白浜町の瀬戸漁港において、遭遇できた年で年間わずか数回程度という非常に稀な行動として、海面を滑走する記録を2000年から2004年4月30日までの期間中の計8回を報告した(久保田, 2004, 2006)。瀬戸漁港にはそれ以降も毎日のように生物観察に通っているが、今回、2008年4月16日までに遭遇した稀な3例の記録をまとめた。また、同じ町内においてタイドプールで滑走した珍しい1例が瀬戸漁港での遭遇日と同日だったのであわせて記録しておく。

瀬戸漁港市場前附近の岸壁での目撃例

1. 2005年4月9日17時30分に1個体が滑走
2. 2008年4月5日15時00分に1個体が滑走
3. 2008年4月14日10時00分に9個体(10 m x 1 mの範囲にいて、時折約2 m / 秒の速度でダッシュする個体あり)

白浜町才野(通称、黒潮台)のタイドプールでの目撃例

2005年4月9日14時30分に1個体が滑走(図1~3)

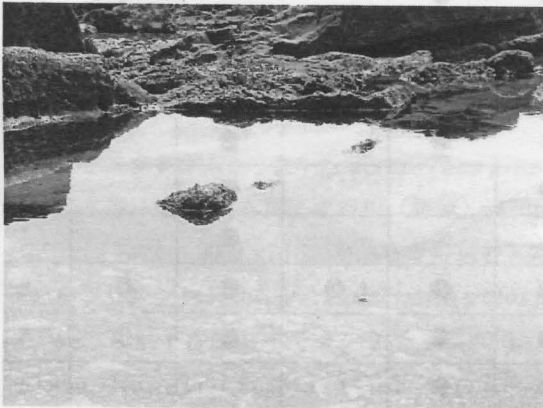


図1



図2

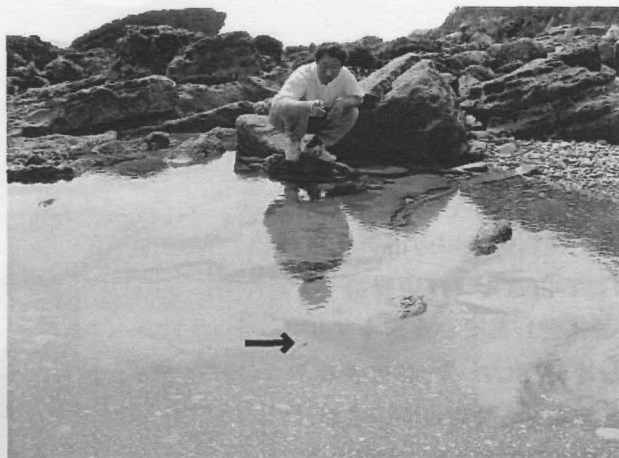


図3

図1～3 和歌山県白浜町のタイドプールを滑走するアメンボ(→)

文 献

久保田 信. 2004. 海面を滑走するアメンボの記録. KINOKUNI, (65): 9-10.

久保田 信. 2006. 体液する「バンパイア」海面滑走する淡水性アメンボ. In「宝の海から白浜で出会った生き物たち」. pp. 80-81, 図版, 25.

(くぼた しん 西牟婁郡白浜町臨海 459)